

週刊 タバコの正体

現代、タバコに好意的な人はかなり少なくなってきました。それは、タバコは人体に有害だという事が世の中全体に浸透してきているからでしょう。同時に、喫煙者のタバコの煙を吸わされてしまう“受動喫煙”の危険性も多くの人が知るようになってきていますからね。そして、そんな危険性に関係なく生理的にタバコのニオイが苦手だとか、嫌いだという人も相当多いと思います。

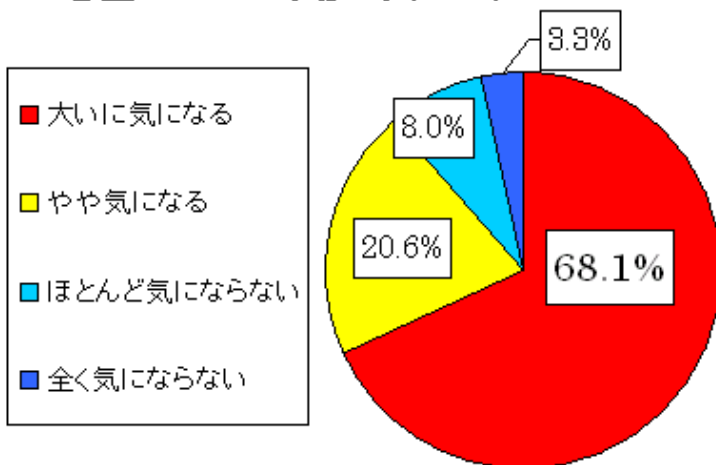
じつは、ある宿泊施設情報提供サイトの「禁煙ルームの需要」に関するアンケート調査の結果(下図グラフ)が、そんな実情を裏付けています。客室のタバコのニオイが「大いに気になる」と「やや気になる」を合わせると88.7%もいるのに対して「気にならない」人は11.3%しかいません。また、家族旅行で予約するなら、ほぼ90%の人が“禁煙室”を選ぶという結果が出ています。

いかがでしょうか。ホテルの部屋に限らず、自動車の車内などにしみついているタバコのニオイは非常に不快だと感じる人が多いということですよね。タバコが苦手な人の中には、そんな場所に長時間いると気持ちが悪くなったり頭が痛くなる人もいます。

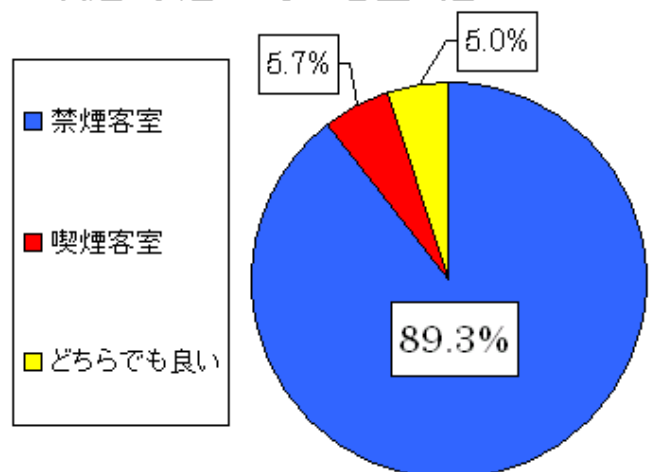
他人のタバコの煙を吸わされる事を“受動喫煙”と呼びますが、このようにその場所にしみついたタバコのニオイをかがされるのは“残留受動喫煙”と呼ばれるときがあります。タバコの煙は見えなくなってもその粒子はまわりの様々なものに付着し、ニオイとして意外に長く残るからです。タバコは喫煙中だけではなく、その後も人々を不愉快にする有害物質を残してしまう場合がある事を知っておいて下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久

■ 客室の「たばこ臭」は気になりますか？



■ 家族旅行のホテル予約の際、喫煙・禁煙どちらの客室を選びますか？



リゾートトラスト オンラインホテル予約・空席情報 CLUB NET「お楽しみアンケート」サイトから